

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川近代文学館		
所在地	横浜市中区山手町110		
サイトURL	http://www.kanabun.or.jp		
根拠条例	神奈川県立神奈川近代文学館条例		
設置目的(設置時期)	近代文学に係る図書及びその著者の遺品等を収集し、整理保存し、及び展示し、並びに近代文学に係る図書を閲覧に供するとともに、併せて県民に文化活動の場を提供するため。(昭和59年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川文学振興会		
指定期間	平成23年4月1日～ 平成28年3月31日	施設所管課	文化課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>〈管理運営等の状況〉 開館30年目であった本年は、前年度と比べて1万人以上の増となる73,379人が来館した。4月～6月の「太宰治展」においては、漫画「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーション企画によって若年層の来館者が増えたことが大きく作用し、16,464人が来館した。さらに「須賀敦子の世界展」も13,391人と多くの方が来館しており、こうした特別展が好評だったことで、利用者数増などの良好な管理運営状況につながった。</p> <p>〈利用状況〉 「太宰治展」、「須賀敦子の世界展」が好評を得たことにより、年間利用者数は前年度比119.3%、目標比124.6%に達したため、S評価に値する。</p> <p>〈利用者の満足度〉 上位二段階の評価の割合が65.9%であるため、B評価に値する。施設設備についての評価が低下した。</p> <p>〈収支状況〉 支出において、計画に比較して増額はあったものの、収入合計/支出合計の比率は100%であり、A評価に値する。</p> <p>〈苦情・要望等〉 施設設備、観覧者にかかる苦情等については、適切な対処が行われた。好評を得た漫画とのコラボレーション企画については、さらなる期待の声が寄せられた。</p> <p>〈事故・不祥事等〉 事故・不祥事は発生せず、良好な管理が行われている。</p>
S: 極めて良好な管理運営状況 A: 良好な管理運営状況 B: 一部改善が必要な管理運営状況 C: 抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	
	5月10日、 7月19日、 9月7日、 11月1日、 12月19日、21日、 2月15日	
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関するコメント
<p>・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。 (集客を目指す展示、独創性のある展示、外に広がる展示など)</p>	<p>4～5月 特別展「太宰治展」入場者数 16,464人 5～7月 企画展「菊地信義展」入場者数 3,681人 8～9月 企画展「なかえよしを＋上野紀子展」常設展「文学の森へ 第1部」併設 入場者数 9,057人 10～11月 特別展「須賀敦子の世界展」入場者数 13,391人 11～1月 新収蔵資料展2014＋常設展「文学の森へ 第2部」入場者数 1,635人 1～3月 企画展・収蔵コレクション展14「寺田透展」常設展「文学の森へ 第3部」併設 入場者数 2,027人</p>	<p>年間展示室入館者が前年度の33,715人から46,255人に増え、提案以上の効果が確認された。特に、「太宰治展」での漫画とのコラボレーション企画は好評であったため、継続によるさらなる効果が期待できる。</p>
<p>・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会も積極的に開催する。</p>	<p>館収蔵コレクションの寺田透文庫の資料を活用して横浜出身の文学者・寺田透の企画展を開催し、その評論・執筆活動を顕彰した。また冬期には新収蔵資料展として、年度内に寄贈された主な資料を展示した。</p>	
<p>・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会などの企画を開催し、利用者のニーズに応える。</p>	<p>(講演会、講座、朗読会など) 4～5月 太宰治展記念映画会 4回 同 展記念イベント 2回 同 展記念講座 2回 同 展記念朗読会 1回 NHKFM公開録音 1回 同展キヤリアートク他 平和セミナー 1回 5～7月 菊地信義展記念講演会 2回 同展記念イベント、ワークショップ 2回 同展キヤリアートク他 8～9月 ねずみくん展記念講演会 2回 かなぶんキッズクラブ (映画会・ワークショップ 他) 5回 同展キヤリアートク他 DVD上映会 1回 飯島耕一没後1年記念事業 10～11月 須賀敦子展記念対談 1回 同 展記念講演会 2回 同 展記念朗読会 1回 同展キヤリアートク他 朗読コンサート他 1回 「文字・活字文化の日」記念行事 12～2月 長谷川伸生誕130年記念講演会1回 同 記念文芸映画会 2回 2～3月 寺田透展記念講演会 1回 同展キヤリアートク他 文芸朗読会 1回 かなぶんキッズクラブ (映画会・紙芝居) 3回</p>	
<p>・インターネットによる所蔵資料情報の公開を進める。</p>	<p>・近代文学館のホームページで実施 ホームページアクセス件数 175,859件 (うち蔵書アクセス件数 61,746件) ・自主財源を投入した開館30周年事業の一つとして、館の資料画像アーカイブ「夏目漱石デジタル文学館」のネット公開を実現し、資料情報の積極的な公開を行った。</p>	<p>ホームページアクセス件数は昨年度の103,567件より大幅に増え、提案以上の効果が確認された。</p>
<p>・専門館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。 〔参考〕 レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、仲介的な立場から援助するサービス。利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設からの照会もある。</p>	<p>レファレンス件数 232件</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	54,615	55,164	61,526	73,379
対前年度比			111.5%	119.3%
目標値	[目標値設定根拠]	57,900	58,400	60,000
目標達成率	経営改善目標	95.3%	105.4%	122.3%

[参考：最大利用可能人数]

	ホール	中会議室	小会議室	和室		合計
定員	220	60	18	20		
年間利用可能日数	314	314	314	314		
最大人数※1	69,080	18,840	5,652	6,280	0	99,852
稼働率	12.2%	33.4%	63.7%	34.2%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
B	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口で常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート (2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート	展示会入場者数が昨年同時期の「泉鏡花展」（5,696人）より大きく伸びた「須賀敦子の世界展」（13,391人）で実施した来館者アンケートでは、回答者のうち、県外在住者の割合が56%、初めての来館者の割合が56.9%と高かった。館事業の三本柱としている「資料収集(保存)」・「展示」・「講演会等の企画普及」について、「須賀敦子の世界展」は、およそ9割の肯定的な評価を得た。「講演会等」の評価についても、項目回答者の7割以上の方から「良い」との評価を受けた。「今後重点的に力を入れるべき項目」として「展示内容」「講演等企画」「資料収集(保存)」の順に多かったが、これは展示観覧を目的として来た初めての来館者の割合が多かったことによると思われる。一方、施設設備の現状評価を「良い」とする回答の割合が昨秋に比べ大きく低下した。今後のアンケート結果も注視していきたい。

実施した調査の配付方法 受付等に配架、HP掲載 回収数/配付数 / =

配付(サンプル)対象 来館者、HP利用者

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数		201	108	1		310	
回答率		64.8%	34.8%	0.3%			
前年度の回答数		125	59	0		184	
回答率の対前年度比		95.4%	108.4%	—			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	422,248	407,887	409,110	420,570	※「その他収入」の内容 講演会等の事業収入 8,568千円、特定資産利息収入 276千円、立替金収入 226千円、寄付金収入 220千円、雑収入等 330千円
指定管理料	405,421	392,784	393,302	404,542	
利用料	8,748	8,892	11,630	15,435	
その他収入	7,846	6,121	11,521	9,627	
合計	422,015	407,797	416,453	429,604	
対前年度比		96.6%	102.1%	103.2%	
対計画比	99.9%	100.0%	101.8%	102.1%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	422,248	407,887	409,110	420,570	
支出額	422,015	407,798	416,454	429,604	
(内 納付金)					
対前年度比		96.6%	102.1%	103.2%	
対計画比	99.9%	100.0%	101.8%	102.1%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	0	0	0	0	
収支差額	0	-1	-1	0	
対前年度比		-	1		
収入合計／支出合計の比率	100%	100%	100%	100%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所當繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：100万円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	3 件	会議室利用者用のコピー機の設置とコピー料金の値下げをしてほしい。(1件) 休憩スペースがもう少し欲しい。(2件)	2015年度からコイン式のコピー機を設置し料金も値下げ 可動ケースの配置を調整し、展示室内にベンチを配置
職員対応		件		
事業内容	アンケート	4 件	「文豪ストレイドッグス」とのコラボについて、また別の作家でもコラボしてほしい。	2015年度春の特別展「谷崎潤一郎展」でコラボ第2弾実施
その他	アンケート	7 件	観覧者の私語が気になる。(5件) 以前と比べて順路表示がわかりやすくうれしい。今後この方式でやってほしい。(2件)	特別展会期中の巡回回数を増やし、随時対応 順路札に必要に応じて番号を入れるなどの改善を行った

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
該当なし			

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。